

資格取得を手厚く支援 高まるモチベーション

株式会社有賀組 (山形県鶴岡市)

■土木・橋梁・建築工事の足場を提供

「クラゲ水族館」として昨年来大きな話題となった鶴岡市立加茂水族館。このリニューアル工事の足場組み立てを担当したのは株式会社有賀組である。公共工事、民間工事を問わず土木・橋梁・建築工事全般に足場は必要である。一般的に、当社は工事の元請業者の発注に基づき足場の組み立てを行う。当社は現・代表取締役の有賀哲氏が平成10年に個人創業。平成15年に有限会社化し、平成20年には株式会社化した。平成26年に現在地に本社を移転し、仙台営業所を開設した。業容は順調に拡大し、本年1月には

私募債1億円を発行している。当初3人からスタートした当社は現在50人以上の社員を抱え、鶴岡市における有力企業に成長している。酒造りで名高い鶴岡市大山地区にある本社を尋ね、社長に「人材育成」の秘訣を伺った。



代表取締役
有賀 哲氏

■画期的な新工法

業界紙でもたびたび取り上げられているのが、当



クイックデッキ工法の訓練場

社が推進する「クイックデッキ」工法である。

クイックデッキは日綜産業(本社・東京)が提供しており、有賀組が東北地区の代理店となり運営している。足場を作る仕事は高所での作業となるため安全性の確保が絶対命題となる。従来はチェーンをぶら下げてから横板を作成しているが、クイックデッキは足場を確保しながら前に進んでいく工法で安全性が飛躍的に高まった。民間工事先行で普及が進んでいるが、公共工事にもどんどん取り入れたいと社長は語る。



株式会社有賀組 本社社屋

■社員は全員営業マン

社長に「社員に一番求めたいこと」を尋ねたら、すかさず「社員ひとりひとりが営業マンであるということ念頭に、仕事に取り組んでもらいたい」という答えが返ってきた。直接的な営業の仕事は社長を中心に行っているが、内部社員でも現場社員でも元請け業者への対応も含めて「また仕事を当社にたのみたい」と言われように対応する努力を期待している。仕事そのものが営業というわけだ。

■OJTが人材育成の基本

現場社員は30代が多いが、30代の誰に現場を預けても任せられる人材を育成しており、それが当社の

最大の強みとなっている。20代で採用して10年かけて、あらゆる現場を任せられる社員に育成している。地元業者があまりやらない、のり面(切り土や盛り土などによってつくられる人工的な斜面)工事の足場組み立てや橋梁のつり足場工事をどんどん引き受け、経験を積ませているのが大きい。

■希望・適材適所も考慮

そうは言っても人材はオールラウンダーばかりではない。当社は常に30カ所ほどの現場を抱えている。入社後2年程度いろいろな現場を経験させると、この社員はどこが伸びていくかがわかってくる。橋梁が向いていると思えば橋梁、建築が向いていると思えば建築、オールラウンドと思えば多方面となる。基本的に社員は現場を選べないが「この分野の仕事をしたい」と希望があれば配慮している。「どんな現場もこなせるのが理想だが、まず自分の得意分野を作るのが優先」と言う。

■資格取得を推奨

当社のホームページをみてみると、1級土木施工管理技士2名、1級とび技能士7名等々業務に関連する有資格者の人数がずらりと掲載されている。社長は業務に関する資格は可能な限り取得するように推奨している。資格の取得費用は会社が負担しており、資格取得のための休暇も出勤扱いにしている。さらに、資格を取得するとそれが毎月の給料に反映されるので、社員の挑戦意欲は高い。会社から見ると負担も大きいですが、営業上もメリットの方が大きいという。資格取得が社員のモチベーションのアップにつながっており、好循環になっている。



整然とした資材置き場



秋田県由利本荘市蛇喰ヶ沢(じゃばみがさわ)工事

■重視しているコミュニケーション

当社のように、50人規模の会社になると社員ひとりひとりの動向や考えの把握がおろそかになりがちだが、社長はこれをカバーするために10人規模の会社を心がけている。タイミングはひとつの現場工事が終了した時が多いという。いわゆる打ち上げである。ここで社員の本音を聞き取るように心がけている。また定期的に個人面談を行っている。最大のイベントは3月の給料日の面談であり、社員の意見を最大限考慮し、年度変わりの4月以降の基本給を決めている。

■今後の課題

前述した資格取得であるが、1級レベルの資格となるとなかなか独学では合格が難しいものもある。そこで社員から学校に通うことを認めてもらいたいとの声があがっており、社長は現在、前向きに検討している。また、当社は比較的短い期間で急速に成長したために、社内体制が追いついていない面があるという。社内体制の整備が課題で、その一環として国際規格認証の労働安全衛生マネジメントシステムの認証取得に取り組んでいる。

取材を通じて、外にも内にも強いバランスの取れた企業となるのも間もないと感じられた。

(フィデア総合研究所 佐藤明廣)

株式会社有賀組

代表取締役 有賀 哲
本社：山形県鶴岡市友江字川向41
設立：平成15年4月
従業員：51名